

8 まちの魅力

基本方針

県内屈指の集積を誇る文化財や荻須記念美術館、実業団スポーツチームなど本市の有する地域資源をまちの魅力を高めるために効果的に活用します。市民が文化的で豊かな暮らしを実現するためにそれらを気軽に体験できる仕組みをつくとともに、地域が一体となって知名度向上と観光振興に取り組むことで、市外からも訪れたいと思われる魅力あるまちを目指します。

8-1 観光・文化財

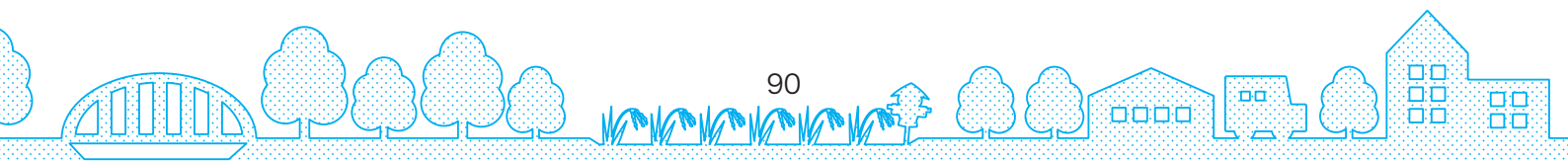
(1) 目標

本市には自然や歴史文化、産業、食などの魅力的な資源があり、特に文化財については県内屈指の集積を誇ります。しかし、市内に点在するそれら地域資源の認知度が市内外において低く、それらを線ですなで観光に活用する体制も整っていないなど、まちの魅力を十分に生かし切れていません。

そこで、本市の特色を生かした観光まちづくりへの市民意識を醸成するとともに、地域資源を効果的に活用してまちの魅力の向上に努め、まちの活性化を目指します。また、それらを戦略的に発信することで、市民の本市に対する愛着や誇りを育てていきます。

(2) 個別計画

計画名	計画期間
稲沢市観光基本計画	2018（平成30）年度～2027年度
尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想	2014（平成26）年度～2023年度
史跡尾張国分寺跡保存管理計画書	—



(3) 主な取組み

① 観光資源の活用 **！ 重点戦略**

観光による地域の活性化を図るため、地元の企業や団体などと協働して潜在的な地域資源（ヒト・モノ・情報など）を発掘し、既存の観光資源とあわせて活用するとともに、特産品や新製品の積極的なPRを行います。

県内屈指の集積を誇る文化財については、適宜適切な保存修理により後世に遺し伝えていくとともに、定期的な一般公開の機会の創出に努めます。

② 観光サービスの向上

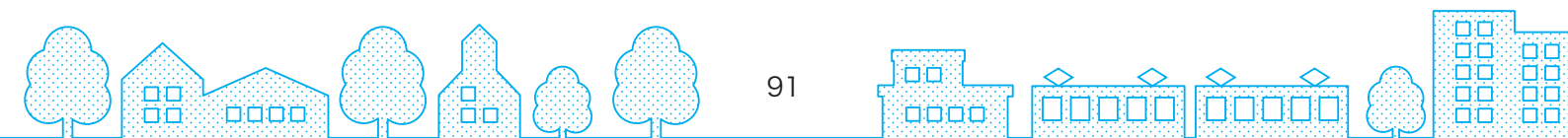
観光施設の整備・維持管理を行うとともに、来訪者を受け入れる環境の改善に努めます。また、稲沢市観光協会の活動の充実を支援し、観光関係者間の情報共有やボランティアガイドの育成を図ります。

③ 史跡尾張国分寺跡^{*}の保存整備と活用

『尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想』などに基づき、史跡尾張国分寺跡約70,000㎡を史跡公園として整備し、活用を図ります。

④ 戦略的かつ効果的な魅力発信

市内外に本市の魅力を発信して本市の認知度・好感度の向上を図るため、関係機関と協働しながらマスコットキャラクターや稲沢PR大使を活用したキャンペーン、CM・映画などのロケーション撮影誘致を行います。



8-2 鑑賞芸術・競技スポーツ

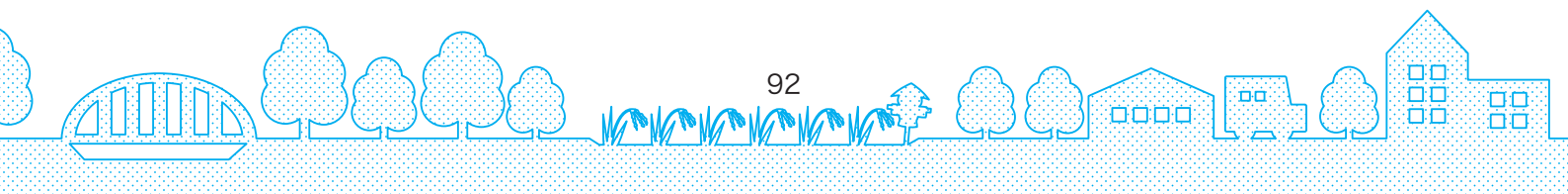
(1) 目標

芸術やスポーツといった、暮らしをより豊かにする活動が盛んであることが、魅力的なまち、選ばれるまちとなるための大きな要素の一つとなっています。本市には、荻須記念美術館、市民会館、実業団スポーツチームがあり、芸術や競技スポーツに触れられる機会を有しています。

そこで、芸術や競技スポーツに親しむ機会をつくり、芸術が身近にある暮らしや競技スポーツを通じた盛り上がりを創出することで、本市のイメージ向上につなげていきます。

(2) 個別計画

計画名	計画期間
—	—



(3) 主な取組み

① 芸術鑑賞の機会の創出

荻須記念美術館において収蔵品や催事の充実に努めるとともに、市民会館において音楽や舞台芸術をはじめとした様々な文化・芸術イベントを誘致します。

② 競技スポーツの振興

市内に在住する優秀なジュニア選手などに対して、スポーツ振興基金優秀選手奨励金を交付します。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン事業*やアジア競技大会の競技誘致、本市にある実業団スポーツチームの選手や指導者による中学校の部活動への派遣指導など、市民が競技スポーツに触れる機会を提供し、選手や団体の活躍を支援します。

